

会 議 録

| | | | | |
|-----------|---|--------|----|-------|
| 会 議 名 | 第9回 三芳町学校再編等審議会 | | | |
| 開 催 日 時 | 令和6年9月12日(木) 午後5時30分開会 午後7時40分閉会 | | | |
| 開 催 場 所 | 三芳町役場3階 会議室 | | | |
| 出席者氏名 | 会長 | 佐藤 和秀 | 委員 | 高橋 敦士 |
| | 副会長 | 宇佐見 宏一 | 委員 | 西内 一夫 |
| | 委員 | 岡野 雅一 | 委員 | 曾我 幸也 |
| | 委員 | 細谷 拓郎 | 委員 | 織部 隆 |
| | 委員 | 大澤 純之 | 委員 | 武田 和広 |
| | 委員 | 田畑 裕孝 | 委員 | 吉村 豪 |
| | 委員 | 松元 優子 | 委員 | 清水 恵美 |
| 欠 席 者 氏 名 | 委員 | 松村 明子 | 委員 | 南雲 友香 |
| | 委員 | 明石 沙絵子 | | |
| 事 務 局 | 学校教育課 | | | |
| 議 題 | 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事(説明・協議事項) (1) 前回会議録について (2) 協議 4 諸連絡 5 閉会 | | | |
| 会議経過 | 別添のとおり | | | |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹間沢小学校に係る参考資料／町立中学校に係る調査事項等 ・ 答申たたき台(協議内容等の整理) | | | |
| 会議録の確定 | 令和6年11月7日 | | | |

| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 ・ 結 果 |
|-------|--|
| 会長 | <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事（説明・協議事項） （1）前回会議録について</p> <p>事前に配布した会議録について、ご意見は。</p> <p>（発言者なし）</p> |
| 会長 | <p>では、前回の会議録は承認ということで、事務局の方で公開の手続きを。</p> <p>（2）協議</p> |
| 会長 | <p>議題が大きく2つ。1つは町立中学校について。そしてもう1つは、竹間沢小学校の学校再編についてのご協議をいただきたいと思っている。まず協議の進め方なのだが、この審議会の回数そのものも少なくなってきた。ぜひ、多くの委員の皆様から意見をお伺いし、今後のまとめに進めていきたいと思っている。ぜひ指名をさせていただいたり、あるいは順にご意見を頂戴したりというような進め方も考えているが、何か異議等あれば。</p> <p>（発言者なし）</p> |
| 会長 | <p>それでは、まず協議の1つ目として、町立各中学校について検討いただきたいと考えている。後ほどグループで中学校の今後のあり方について協議を、と考えているが、まずは、協議頂くための資料について事務局から説明を。</p> <p>（事務局説明）</p> |
| 会長 | <p>2 ページにある中学校の生徒数クラス数の推移をご覧いただきたい。実はクラス数というのを基準に、教職員の定数、各学校の教職員の人数も決まってくる。中学校というのは小学校と違い、学級担任制ではなく、国語の先生が何人、数学の先生が何人ということで配置されており、当然各教科に先生が必要になってくるのだが、学級数が多ければ問題ないが、少なくなってくるとその分教員の数が足りなくなり、各教科の指導に支障をきたす部分が出てくる。その辺の状況について、副会長は中学校の校長なので、学級数と教職員の配置について参考に説明いただきたい。</p> |
| 副会長 | <p>三芳中、三芳東中、藤久保中のそれぞれクラス数、生徒数、教員配置ということで資料に載っている。この教員配置というのは、校長・教頭も入ってしまっているので、実際はマイナス2をした人数で各学年に各教科担任を割り振っていくという形になる。教科としては、いわゆる主要5教科、</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>国社数理英、さらに技能教科で、音美体技術家庭。これを教員配置の人数で各教科に当てはめながら教員配当をしている。特に主要5教科で3学年あるので、本来だと3人ずついると1学年全て見るということで5教科を収めたいというのが、学校としては安定した教科経営もできるし学校経営もできるかというところがある。例えば、三芳中の令和9年のところ。3・2・3ということで、クラス数が8クラスになると、教員が15名。そうすると、先ほど言ったように校長・教頭を抜いて13名でそれぞれの教科に教諭を割り振っていく。そうして、まず全部の教科に1人ずつ入れようとする、主要5教科のところも1人で3学年を教える。例えば1人で3学年を教えるとなると、3学年分の授業の準備をしなくてはいけない。クラス数は少ないが、授業の準備は3学年分。さらに、中学校は中間テスト、期末テストとあるので、そのテストを3学年分作らなければいけないというようなことが起こってくる。1人で3学年、主要5教科の先生が見るといのは負担になるというのは、何校も中学校を見てきたので大変ということがわかっている。そういうようなところをどうするかというと、技能教科の方を1人5教科の方に回っていただいとかなんかという方法で、非常勤講師を技能教科の先生に充てていくというようなことをやっていた学校もある。そういったことで、やはりクラスが減っていくというところは、中学校では教科担任制を引いているので、大変な状況になってくる可能性がある。表で言うと令和9年辺りから2クラスの学級が出てきて、そういう状況が起こってくるということが考えられる。以前は藤久保中学校では8クラス、7クラスというような時代もあったということも付け加えておく。現在、藤久保中学校の方はそこに書いてあるように、3・4クラスで各学年が推移しているの、今のところそういう状況にはならないかというふうに考えられる。</p> |
| 会長 | <p>それではお配りした資料、それから今の教員に関する説明を基に、町内の中学校をどうしていけばいいかということで皆様からご意見を頂戴したいが、まず資料を見ていただいて何かご質問は。</p> <p>(発言者なし)</p> |
| 会長 | <p>それではこの後、今後の三芳町の3つの中学校の再編等について、どういう方向性をもたせたらいいかということについて協議を進め、ご意見をいただきたいと思うのだが、全体で協議を進めると発言の機会がどうしても限られてしまうこともあるので、まずは中学校に関してグループでご協議いただき、どんな形が考えられるか。統合してしまうという考え方もあるかもしれないし、こういう形があるのではないかと、こういう方法があるのではないかとということで、中学校の再編に関してご意見を頂戴したいと思う。</p> |
| 委員 | <p>中学校についての協議をグループでやるということだが、以前一度グループで協議をしたが、協議の議事録も残らないし、それぞれの細かな意見やその議論の推移もわからないし、それをグループごとにまとめて発表ということで、結構丸まってしまうこともあるので、差し障りがなければこのままの形で協議を進めるべきではないかと思うが、その点はいかがか。</p> |

| | |
|------------------|--|
| 事務局 | <p>前回記録がうまく取れずに議事録を残せなかったが、今回は準備し、記録は残せるようにした点はお伝えしておく。</p> |
| 会長 | <p>ということでどうか。 進めさせていただく。具体的な方法を、事務局より。</p> |
| | <p>(事務局説明)</p> |
| 会長 | <p>今日協議いただいてここで考えを一般化するということではなく、どういうやり方があるかというところでご意見をいただき、それを今後の答申の方にどういうふうに乗せていくかということで検討、意見の集約をしていくというところ。今日はまずこの条件上、生徒の推移や学級数の推移等をご覧いただき、どうしていけばいいかのご意見をそれぞれで出し、報告をいただきたいと思う。</p> |
| <p>≪Aグループ協議≫</p> | |
| 委員 | <p>基本的に今まで中学校のことは話をしてこなかったが、この資料を見た第一印象として、自分は統合する必要がないのかと感じた。それぞれの地区に中学校があり、抽象的な話ではあるが大人になってからも楽しい。ただ、先ほどの教員の配置の話。三芳中学校の令和17年度、教員が11人で校長・教頭を引いたら実質9人で、1学年3人。確かに回せないというのは理解できた。</p> |
| 委員 | <p>個人的な感覚としては、距離や人数から言って、中学校が統合するという話になってもそんなに反対する方はいないのではないかというイメージはもっている。その代わり、自転車に登校できるかというのはあると思う。先ほどの副会長の話は統廃合の話ではなく、教員配置、もしくは教員の働き方改革の話だと理解している。現状回らないような業務があることや教員配置がクラス数で決まってしまうことでクラス数が足りなくなると先生が足りなくなるという構造的な部分を、県や町がそこに人材を充てるのかどうかというのを本来模索すべきで、先生が足りないから統合するかしないかというのは分けて考えるべきだと思っている。そこは、論としては使わない方がいいと思っている。</p> |
| 事務局 | <p>後半の先生の話は、定数の関係、座布団が足りないという話ではないか。</p> |
| 委員 | <p>座布団が足りないから学校を統合しなくてはいけいではなく、座布団を増やそうという話。それをするためには、町や県が予算を出して教員を用意できるのかという話だと思う。もしくは、仕事を減らすのか、各校で専科を共通化するとか、教員は授業だけやればいいのか複合的な話がある。ひとつの切り札として、学校を統廃合すれば座布団の問題が一気に解決するというのはあると思うが、その前に、統合するかしないかを別の話でしていくべきなのかと思っている。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>話の趣旨からずれるかもしれないが、未来に向かって先生がこんなに必要かという疑問がある。町の中での授業のオンライン化とか。例えば、月曜の1限目は1年生全員数学として、オンラインで繋いで一斉に授業をするとか。そうすると、かなり教員を減らせるのではないか。未来に向かって授業のやり方自体を変えるということも考えなくてはいけないのではないか。授業はそうして一括でやり、残った先生はどうしてもオンライン化できない授業や、生徒の面倒を見る業務に集中していただくというのいいのではないか。三芳町でやってもいいのでは。全国で、行政単位でオンライン授業をやっているところはあるのか気になる。</p> |
| 委員 | <p>手段としては考えられる。1人1台端末があり、その方向で進んでいるが、弊害もある。始まったところはオンラインが便利だというときもあった。でも、制限しなくてはいけないというところも出てきた。例えば、学校の先生は子どもの前で授業をする。授業中、タブレットを使うが、子どもがタブレットで何を見ているかがこちらからは見えない。本当によく見ていると、余計な事、全然関係ないものを見ている子がいる。そういう問題が出始めているので、オンラインに全面的に頼らない方が、子どものためにもいい気がする。ついていけない子は本当についていけない。やはりそこは先生が対面で、個別に躓いている子を見つけて対応をしていくということが必要だと思う。一方で、教員定数は2番目の理由にしておいた方がいい。子どもの為が第1で議論をしていかないと。働き方改革ももちろん大事だし、検討の視点には入れていいが、あまり前面に出さない方がいいと思う。まず、これくらいの規模の中学校は存在しているのか。</p> |
| 事務局 | <p>データとしてすぐには出てこないが、実際に減って行ってやりくりをしている学校は存在している。工夫でどうにかなるかという部分はある。</p> |
| 委員 | <p>中学校を人数で見っていくと、三芳中が令和17年には1クラス。小学校と同じレベルでは話せないが、そこをどう捉えていくのか。今の段階で再編に引っかかってくる、1クラスで大丈夫なのかというのがキーに、三芳中が1クラスになる令和17年というのがある意味分岐点になってくると思うが、それでいいのか。1クラスで運営している学校があると思う。そこでどのように運営しているのかを見ないと答えを出しにくい。自分の中学生時代を思い返してみると、勉強について学校はあまり影響がなかった。ほぼほぼ塾で勉強をしていた。数国英だと塾の方が進んでいて授業をあまり聞かなかったという過去がある。いろんなケースがあると思うし、ケースバイケースで話していかないとあまり意味がないのではないかなど思っている。例えば、数学が好きな人ならその人に合わせてやってあげないと意味がないわけで、質問をしたらそれは塾で聞いて、と言われたら、なんで学校行っているのかと思っている子も確実にいると思う。それをどう捨っていくかという話になってしまうと思うが、そのへんの位置づけから考えていかないと議論できないのではないかなど思う。再編から考えるとずれているからいいのだが、再編というのはどこから考えればいいのかをずっと考えている。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>私が中学生の時は10クラスだった。でも娘が中学生の時はもっとクラスがあった。学校の中身はわからないが、3クラスや4クラスという数字が目立っている。一般的にこのクラス数で学校運営をしっかりとできているのかとか、このへんの県内の割合はどうか。それがかなりの数あるのであれば、教員の数が足りないから再編というのは話が飛び過ぎているので、まずはその辺の状況を知りたい。</p> |
| 委員 | <p>自分も今の状態で大丈夫だと思う。敢えて一緒になる必要があるのかと。</p> |
| 委員 | <p>質問なのだが、統廃合に係る公共施設マネジメント計画を見ていくと、三芳中学校は建て替え、三芳東中学校と藤久保中学校の統合を視野に入れていると書かれているが、単純に規模だけで考えていくと、三芳中がかなり減っていく状態でなぜマンモス校を別に作る必要があるのか。三芳中と東中が一緒になるのはまだわかるが、アンバランスでそれはどうなのかとを感じる。</p> |
| 委員 | <p>施設マネジメント計画は面積とお金を減らすことのみ計画だと思う。地図を見て、単純に三芳東中と藤久保中をくっつけるという話。</p> |
| 委員 | <p>近いから。</p> |
| 委員 | <p>単純に建て替えるなら1校にしたいというだけの話だと思う。</p> |
| 委員 | <p>子どものためを考えるのであれば、中学校で何をやるのか。ひとつは大人の階段の1歩。小学校に比べて多少厳しい規律がある組織の中で過ごすこと、あと部活というものが大きいと思う。それと授業以外の活動で、団結力や友情を育てていくこと。人数が減ってきてしまうと、部活動が維持できない。既に三芳町にある。授業以外の体験、友達作り等を考えると、やはり人数は多ければ多い方がいいし、人数が多ければ部活の配置もより多くできる。今、地域、外部コーチの招聘なども進んでいるが、色々とお話を聞いているとお金の面だとか、そもそも担い手がいないということで進んでいなくて、結局中学校の部活は教員がやらなければいけないという状況。そう考えると、三芳中学校の未来が不安。</p> |
| 委員 | <p>中学の先生とか生徒の問題は、部活起因のものが多いのかと思っている。部活があるから教師が足りないみたいなどころがあったりするので、地域移行と言うかはわからないが、各校連携の部活動みたいなものを模索していかないと現実的には無理なのかと。先ほどの教科を少ない人数で回そうと言うのと同じような発想で部活もなるべく少ない人数で、もしくは教師以外の人で回そうとやっていかないと学校の維持としては難しいのかとを感じる。ただ、人数で考えて、多くの方が直近の統廃合っていう話は、そんなに必要性を感じる方はいないと思うので、ゆくゆく弊害が出てきたら検討するという、答申に関してはそういう方向性なのかと個人的には思っている。これこれがあれば統廃合だという材料もあまりなさそうかと。おそらくあるとすれば、小学校でもキーワードになったクラス替えにどれ</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>だけ重きを置くかだと思う。クラス替えを絶対にするべきだと。そうすると、三芳中の令和17年をどうするか。そこで統合という話なのか、個人的にはもしそこまでクラス替えがマストであれば、30数人だったら15人とで2つに分ければいいという持論があるので、そこの道も本来は大事な、クラスの人数に限らず分ければいいという持論はありつつも、議論があるとすればそこくらい。クラス替えをどう捉えるか。そんな感じしかなさそう。無理やり統廃合の議論に争点が出てくるとすれば、クラス替えができるかできないか。</p> |
| 委員 | <p>小中学校の適正規模について前々から出されているもので、「中学校は小学校と同様にクラス替えが可能であるとともに」とあり、クラス替えが可能ということで2クラスあればいい。全ての教科で専門の教員数を確保できる全学年で12学級以上とあるが、12学級ないと全ての教科で専門の教員は確保できないのか。中学校のことはあまり考えたことがなかったのだが。</p> |
| 委員 | <p>先ほどの副会長の話だと、5科目ごとの3学年欲しい、ということだった。1学年1クラスになれば負担は減るとは思うが、現場ではそういう考えなのだろう。15ある前提で、1人足りない、2人足りない、3人足りない、でもクラスが少ないからなんとか回せるという。その話は、別のところで聞いたことがある。それプラス専科をどうするかというところが出てくるので、ということだろう。</p> |
| 委員 | <p>音楽や美術、技術などは、週の時間数が違う。国語や数学の先生と同じ扱いにはならないのではないかな。</p> |
| 委員 | <p>実際に今起きているのは、音楽の専科の方が得意でない国語を持っていて、国語の方で授業の質が高められずに保護者の苦情が来るというようなこと。教師の方もストレスになる。本来得意なことではない。音楽のつもりで来たのに国語をやってくれとなる。個人的には小さい町なので、専科は町内で回せばいいのかと思っている。アメリカではやっている。町に美術の先生が2人いてぐるぐる回るというような。その方が、子どもたちにもプロの先生から教われるということがある。今の制度だと難しいのだろうが。</p> |
| 委員 | <p>藤久保中学校と東中学校はどのくらいの距離なのか。</p> |
| 委員 | <p>見えるくらい。走れば1分かからない。</p> |
| 委員 | <p>藤久保小学校の子どもたちは飛地に行っている感覚になる。地図を見てもわかる通り、学区を跨いで通う。藤久保の方が人は多いが、そちらに中学がないので、唐沢小学校の裏に来るという歪なことになっている。</p> |
| 委員 | <p>関係ないかもしれないが、我々が中学生の頃は、藤久保中学校はいずれなくなるから、という町民の意識があったと思う。いずれ老人ホームになって藤久保中学校の人は東中学校に行くと。なぜそんな話が出ていたの</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>か。現状、藤久保中学校は横ばい。10年後も10パーセント減くらいですごく優秀だと思う。でも、やはりどうやっても三芳中学校は無くせない。距離からしても。ただ、老朽化していくことにどう対応していくか。あとは自転車通学の扱いをどうするか。三芳中学校の自転車通学は採めているところがある。</p> |
| 委員 | <p>結局、この再編の審議は、子どもが減っていく流れというのが前提にあると思うが、子どもがどうやったら町に来てくれるのかを考えていかないと厳しい。近所に家が建ったが全く売れていない。結局魅力がないと来ない。藤久保は開発が進んでいるし、そちらに子どもが流れている。その現状を変えていかないとどうしようもない。議論するのだとすれば、それを変えられるシステムとかをどうしていくかというところを考えていかないと、本筋として意味がない。先ほどのオンライン授業もそうだが、抜本的なところを変えていかないと枝葉を切っているだけで、結果的に真綿で首を絞められていて、三芳中も廃校になってしまうのかと思っている。</p> |
| 委員 | <p>一番基本なのは、三芳町が子どもを増やすものをいっぱい作ってもらえれば。そうすれば、皆さんの考えが進むのではないかと。町を変えなければ、同じことばかりをやっているようになってしまう。</p> |
| 委員 | <p>先生はともかく、子どもたちは困らなそうというイメージが結構ある。学校の裏側は大変という話はあっても。野球部をどうしよう、吹奏楽部をどうしようというような細かいところはあったとしても。</p> |
| 委員 | <p>今、藤久保中から三芳中に野球部のために来ている生徒がいると聞かすが、あれは中学を跨いで部活をやっているのか。</p> |
| 委員 | <p>部活だけでなく中学校ごと、藤久保から三芳中学校に通っているが、今三芳中の野球部は、東中か藤久保中に練習に行っている。人数がどうしても少ないから。合同練習みたいな形になっている。</p> |
| 委員 | <p>一時期、東中と藤中が完全に一体化し、同じチームでやっていた。今は解消したが。</p> |
| 委員 | <p>少年野球の統合のようなことが起きている。</p> |
| 委員 | <p>それは統廃合をしても起きるということを感じている。大人数のチームを学校1つで維持するのは難しいかと。個人的には、建物を壊す頃に考える。もしくは、ものすごく減ったとか。建物が耐震工事をして無理となり、建て替えるときに話が出ると思う。10年後とか、15年後とか。近くなったらという話。</p> |
| 委員 | <p>三芳町は今すぐ何かをという話ではないのではない印象。</p> |
| 事務局 | <p>今すぐ何かというわけでなければ、いつかのパターンとしてどういうことが考えられるかとお話を振りたかったが、あと30秒ほど。</p> |

| | |
|------------------|--|
| 委員 | <p>建物判断で良いのではないか。改修しても80年経つと流石に無理なので、いよいよ壊す時にどうするか。その時の人数を考えれば、三芳町に中学校は1校でもいいのではという話があってもいい。建物かよほどの激減か。ゴーストタウンができるような状況になれば。</p> |
| <p>《Bグループ協議》</p> | |
| 委員 | <p>中学校の学区の資料で、竹間沢と唐沢の入り込んでいるところが長くあるが、これは竹間沢小学区ということで良いか。</p> |
| 副会長 | <p>川越街道の道の部分。多分番地が竹間沢になってしまっているの、竹間沢小学区になっているものだと思う。</p> |
| 委員 | <p>三芳東中と藤久保中はすごく近くに建っているが、どのように学区が分かれているのかが疑問だった。</p> |
| 副会長 | <p>基本的に、藤久保小の人は藤久保中に行く。唐沢小の人は東中に行く。藤久保中学校は、学区外に登校することになる。</p> |
| 委員 | <p>竹間沢小学区の子どもが唐沢小に行けるというのはどういうところか。</p> |
| 副会長 | <p>マンションができたときに、唐沢小が目前にあるのになぜ竹間沢小に行かなければならないのかという話が出て、選択ができる特例ができてしまった例があったもの。学区地図を見ると、藤小学区に人が集まってしまうというのがよくわかる。</p> |
| 委員 | <p>川越街道より右側がほとんど。マンションが少ないところは人数が少ない。学校による子どもの数はわかるのだが、学区の人口というのはあるのか。学区の子どもの数の予想を立てているのだろうか。隣の学区だけこちらは人数が増えて、というような。藤久保中は多分問題ないが、三芳東中が三芳中と一緒に17年に2、2、2クラスになっている。そうすると、学区の割り振りを検討しないとおかしいのではないかと思う。今は藤久保が多くなってしまっていて、偏っている。一番小さいところなのに一番多い。一極集中になっている。人数的に分けたところで学校を建てるとか。学区自体を見直して検討しないといけない時期なのかと。三芳中もこんなに広い学区なのに、人数はあまりいない。川越街道の近くに住宅が建ち出している。川越街道より東側は三芳中学校のような形にする必要はあるかと思う。位置的にもそんなには離れないのではないかと思う。逆にいうと、川越街道を越えて竹間沢小に行く人もいるようなので。学校の再編もあるが、学区の再編も。区長会でも、区ごとの人数がだいぶ変わってきたと話題になっている。上富の1、2、3区で合わせても藤久保の2区や3区より少ない。本当は、三芳町として総合的な町の区分けと合わせて学区の見直しなどもしてもらった方が、将来的に無駄が出ないのでは</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>ないかと思う。そうすると、先生の問題も見越した状況で分けていけるのではないか。まだ中学校の方は若干ゆとりがある。先を見据えた学区と区の再編。行政区も川越街道を跨いでしまうと、行事的なものなど高齢化しているので大変だというのがある。上富に関して言うと、人口が増える要素がない。竹間沢も駅の近くであれば可能性があると思うが、畑が多いところはそのままだろうから、藤久保中学校に入った方がバランスは取れるのではないかと思う。距離としては三芳中学校の学区に比べたら近いと思う。藤久保地区への集中がすごく、行政区のサービスと学区を見直す時期に来ているのではないかと思う。上富小はかなり人数が減っている。インターができて人も増えない。主要な買い物をするところもない。古くからある住宅は多福寺のあたりと3区のあたりだけ。もう少し学区と合わせて地区の再編も併せて、教育委員会としてだけでは無理だろうから、三芳町として再編の検討をしないではいけないのかと思う。区長会としても、何年か前から区に入る住民が減っているので再編も検討してほしいと町には言っているのだが、自治会もあるので、そちらでまとまっているところはまとまっていて、難しい部分もあるのというところもある。</p> |
| <p>委員</p> | <p>学区だけを見て統廃合を考えると、東中と藤中を考えるのがいいのかと、パッと見ては思う。学区自体を編成するとその考えは変わるので、学区を再編するのであれば統廃合をするかしないかどうするか、ゼロに戻るのかと思う。人数としては三芳中が一番少なくなる見込みだが、かといって三芳中をどこかと一緒にするとすると上富のふじみ野市側の子からはすごく遠くなってしまうので、中学生でも少し大変かと思う。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私は三芳中学校の卒業だが、先ほどのお話を聞いて、また人数を見ても三芳中学校は増える見込みもないようなところで、少なからずこれがずっと推移するのであれば、三芳中学校に通わせない、サービスが受けられない、学力が低下するのであれば私立を考えなくてはいけないのか、という親御さんが出てくるのかと思った。極端に人数が減ることは、少し考えなければいけない。上富小から三芳中に入って、三芳小は学力面で進んでいると感じる。ふじみ野の方に行くともふじみ野の親御さんたちの考え方は違って、塾に行つてとかでレベルとかで心配になる。学校の先生やサービスなどを考えると、人数というのはすごく大事なことだと思う。なので、小中をくっつけるのか、藤久保のような行政サービスも一緒にできる複合施設を作っていくという考え方もあるのかと思う。極端に言うと、三芳町に中学校1つというのものもあるのかと。部活とかそういうのも含め、ふじみ野市なども見ている。サービスは人数に比例して低下する、教科の先生がいなくてとかというのは懸念するところ。魅力がないと三芳町に来るといことは考えられない。</p> |
| <p>副会長</p> | <p>町の計画からすると、藤久保中学校を三芳東中学校にくっつけるという話だが、それよりも三芳中の人数が増えていないというところで、この計画自体がトラブルかという感じがしている。三芳中は伝統がある、一番古い中学校。三芳中愛は大きい学校だとも思う。なんとか残したいという思いもある。地図で三芳町の本当に真ん中に1校、新しく三芳町の唯一の中学校というのもいいのかと思った。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | 実際に他にいくと、1校でもやっていける大ききなのか。 |
| 副会長 | 全然いける。教室さえあれば。 |
| 委員 | 箱があれば。 |
| 副会長 | そう。あとは、先ほど委員からもあったように、行政区再編というところも、藤中、三芳中のところでいくと藤久保5区と6区が川越街道を境に分断されているので、そこは毎年課題ではあった。中学校同士、三芳中と藤久保中で来賓を呼ぶときも区長と副区長で別々に来ていただくとかしていた。でも行政区は一緒。行政区の区割りも考えながらの学校再編というのもいいかと思う。 |
| 委員 | そんな話はないかもしれないが、2市1町合併とかになるとまた変わってくるのだろうか。 |
| 事務局 | 建て替えの60年という目安が、三芳中が一番早いというのがあるが、その点はどうか。 |
| 副会長 | 三芳小と三芳中を一緒にしつつ、三芳中には東中と藤中が入る、中学校は1校だけという考えもあるかもしれない。小学校は通学の近い遠いがあるので、川越街道よりも鶴瀬寄りのものは全て残して、というような。そうすると、三芳小中が盛り上がるかもしれない。 |
| 委員 | <p>《Cグループ協議》</p> <p>見ていて、いろんな選択肢が考えられない。三芳町の人口の分布だとか、道路状況だとか考えたときに、小学校も含めた話だが、特に中学校を見たときに、統廃合でまとめていこうと考えると非常に、今よりもっとアンバランスになる気がしている。そこをどうやって解決していけるか。うまくまとめていけるといいのではないかと。具体的に言うと川越街道より藤久保側は、中学校の子どもが多いし中学校も多いが、元々こちらで問題になっているのは上富小の統廃合。それがそのままいくので、人数が変わらない。そんなところで、難しいと思う。</p> |
| 委員 | 1校にするのか、2校にするのか、分け方か。先ほどあったが、人口密度が違う。合併するとなると、藤久保中学校と合併した中学校は、人数は安定するだろうが、例えば、藤久保中学校と三芳東中学校であれば、通学も通えない距離ではないと思うが、三芳中単体になっても人数的にも少ないし…。ただ、1校にするとしても、三芳町はそんなには広くはないと思うが、場所の問題があるかもしれない。いろいろなことが考えられるが、難しい。 |
| 委員 | 藤久保中学校は、三芳東中学校と近くにあるので、一緒にしてもいいの |

| | |
|----|---|
| | かと思う。逆に三芳中… |
| 委員 | 人口が増えなさそうな三芳中が難しい。 |
| 委員 | 上富小学校から考えると、三芳中学校は地理的には通いやすい位置にあると思う。安全面を確保するという観点からすると、人が多い方が、きめ細かな指導とか、様々な人の目によって子どもの安全を守れるというのはあり、統合することにメリットはあると考える。中学生の発達段階から考えると、自転車で通えるというのはある。ただ、それ以外の登下校の安全面や、統廃合によって無理をすることになるということにはケアが必要だと考える。 |
| 委員 | 北永井地区で見ると、役場が作ったデータよりももっと人口減少が進むような状況が生まれている。今住んでいる人たちの住宅一つ一つが、まず小さい。そこで、学校を卒業すると家を出ていく。結婚しても、新しい家を藤久保とか富士見市とかにつくる割合がものすごく多い。空き家についても調べているのだが、キャパシティが小さいので兄弟が3人いたとしても誰一人帰ってこない。同じ北永井でも、隣の地区だと少し分譲があって少し広い。行って来いで一緒になるのかもしれないが。全然別のところに、例えば円を描いてそのど真ん中に大きい学校をつくとやるならばいいが、そこには大きな問題も出てくる。経済的な問題も含めて。通学も、4km圏外の子どもが出てくる。藤久保中学校と三芳東中学校の場合は、統合しようが別々であろうが、当分の間は不足なくいくのだろうと思う。そういう時期に1つにするのか。三芳中学校の場合は、少しずつ減って行って、今の上富小学校と同じことになるかもしれない。なってからでは遅いので、本来、もっと先行してやらなければならないことなので非常に難しい。いくら中学生でも、町内1校として36度などの気温の中で通学することを考えると…。自転車で行く子もいるかもしれないが、信じられないような過酷な状況だと。 |
| 委員 | 昔と違う。 |
| 委員 | 自転車でも熱風を浴びる。 |
| 委員 | 12年前に年寄りのボランティア団体を立ち上げた。その時に決めたのは、夏に30度を超えたら活動しないということ。今現在、36度とかでも毎日活動している。活動しないと困る人がいる。義務教育の学校は休むわけにはいかないから、どうしても行かなくてはいけない。この4kmや5kmという距離そのものが、この審議委員会の最初の瞬間から長すぎると感じていた。どうすればいいのか。 |
| 委員 | 逆に、中学校が3つあるより1つにして、スクールバス的なものを走らせたとしても、3校運営するよりは予算はかからないのでは。そういう考えも有り。自転車で行く人もいると思うので、道路の整備などが必要になってくると思うが、いずれかは統合するようにはなるのかと思う。人口が減っていくのは間違いないので。 |

| | |
|----|---|
| 委員 | バス通学の人たちがそこそこの人数だから成立するというのもある。 |
| 委員 | 近いのでバスに乗らなくてもいいという人と、遠い人でバスを使う人。バスの運営の問題もあるが。 |
| 委員 | 例えば中学校でこのデータから考えると、半分くらいがバスに乗らなくてはいけないとなると、1つになるとバスの便がものすごく多くなり、スムーズな通学が難しくなる気がする。 |
| 委員 | 難しいか。 |
| 委員 | そこそこの人数ならスムーズに行くと思うが。まあ、バスの便数がたくさんあって、ドライバーもたくさんいればスムーズに行くとは思いますが。話が飛ぶが、来年度から町で巡回ワゴンを計画していると思う。あれば9時から4時半出発の5時までで計画していると聞いた。先走ってはいけませんが、上富小の一部の地域はそのワゴン車に乗る人数しかないところもある。その循環バスを通学バスにして、普通の時間帯は循環バスにしてやっていけばいいのでは。大きなバスもマイクロも入れてやっていけないかと思う。この話は中学校の話だが、1箇所にしたとしたらどうやってやるのか。先日みよしまつりが終わって歩いて帰ったが、目がまわるくらい遠かった。 |
| 委員 | 昭和の考えで言うと、自転車通学だったら三芳町ならどこでもいけると思うが、時代が違うので……。三芳町って4kmしかないのか。道を通れば、もう少しかかるか。 |
| 委員 | 私は自転車族で、仕事を辞めてからずっと自転車で関東近辺走っていた。直線距離で計算するととんでもない罨にはまる。 |
| 委員 | ネットのマップもそう。さっきまで2kmだったのが延びている、となる。 |
| 委員 | 三芳小から考えると、上富に向かってずっと傾斜がある。向こうに行くのは結構きつい。例えば立川あたりまで行って帰ってくるのはスッと帰って来られる。4kmしかないところだが、間に信号があり、カーブがあると4kmじゃなくて6kmとかになってくる。でも、中学生の4km、6kmというのは、自転車通学ができるとなれば……。昔は三芳中も乗っていた。 |
| 委員 | 昔三芳中だったが、2km以上は自転車通学だった。 |
| 委員 | その2kmが問題になってダメになったのか。 |
| 委員 | いつからなくなったのか。2km以内の子も、裏が林だったので駐輪場じゃないところに置いていた。そういう時代だった。 |
| 委員 | 2.1kmの子は堂々と来られるが、2kmに100m足りない子はダメ。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | その辺も難しいところ。隣り合わせでもこっちはいいけどこっちはだめとなると、苦情の嵐になる。 |
| 委員 | 距離だけでやるとそんなことになる。 |
| 委員 | 今年は藤久保中学校で2、3人自転車通学がいる。なぜそのようになったかわからないが。 |
| 委員 | 距離や身体の関係だろうか。 |
| 委員 | 早く帰って習い事に行く、とかか。 |
| 委員 | 特段の理由があればということだろう。今表には出ていない話で、自分のところでよくあるのは、今は保育園に行っているが三芳小学校は嫌だからと道路の向こう側に引っ越してしまう。それが親子で決められる最後の抵抗。小学校はそれをしない限り、特段の事情がないと別の学校に行かせてもらえないということだったと。 |
| 事務局 | 小学校は難しい。中学校は部活動の関係で認められる場合もある。 |
| 委員 | 町の真ん中に中学校を1つ建てる場合、藤久保よりも北永井の地区の方がゆったりしていて広いが、学校のことを考えれば子どもも多くて先生も多い、賑やかなところに行きたがる。そうすると、町の真ん中にどんと1つあるというのは合理的でいいかもしれない、予算も何も考えない部分で。 |
| 委員 | そもそも、北永井、上富地区の調整区域を全て解除すれば、家もどんどん建つ。そこから始まるのでは。町の人口を増やさないと、合併が一生続く。 |
| 委員 | そうすると、光が丘から地下鉄を引っ張って来ないと。 |
| 委員 | そう。1本入れてもらえれば最高。そんな話もあった。 |
| 委員 | 私はそもそもそれに騙された。 |
| 委員 | これからの生徒数、クラス数の推移が出ているが、3校を1校に合わせるとどのくらいの人数になるのか。千人くらいか。その規模の学校を三芳中あたりになると三芳中では賄えないので、新しく、藤久保拠点のような大規模な工事をする必要があると思うがそのコストは現実的か。また、もう少し合理的に考えた時に、上富小と三芳小の位置からの距離を考え、三芳中の位置はキープしないといけないと思う。遠い学区に住んでいる子どもたちからすると無理があるかと。バス通学も考えられるが、そういうことも考えた時に学区を編成して、バランスよくということは可能か。 |

| | |
|---------|---|
| 委員 | 合理的にできればいい。私は不動産を仕事でやってきたが、その一言で地価が変わる。例えば、このあたりまでを藤久保小学校に入れるとなると、この地価は高騰する。してもいいのだが、その周りは人も減る。その編成はよほどうまくやらないと難しい。三芳町の一番難しいところは、ど真ん中に川越街道が走っていること。 |
| 事務局 | 現状住んでいる人にとって、地価が上がるメリットやデメリットというのはあるのか。 |
| 委員 | 地価が上がると税金が上がる。でも、子どもが相続して売る時には良い。通常は経年で下がるもの。北永井の小さな建物を建て替えようとする、取り壊しの費用と建物の値段となるので更地を買った方がいいとなる。学校の話と離れてきてしまったが、でも学校の通学というのは子育て世帯には大きな問題。 |
| 委員 | 大きな問題だと思う。やはり選ぶ。 |
| 委員 | うちの娘も藤久保に住んでいる。東京に嫁にやったが、子どもが生まれたら子どもの故郷を作りたい。夫婦どちらかの田舎を考えた時に、東京は高かった。自分は三芳小だったが川越街道を渡れば藤久保小で、結局そちらを選んだ。三芳と限定した場合、学校エリアのことで人口が増えも減りもする。その原因は通学路にも大いにある。唐沢小学校と竹間沢小学校の境がまさにそう。こちらは人気が出てすぐに売れるが、道路で向かい合わせの家でも人気度が違う。学校のバランスを統廃合することによってうまくやるというのは非常に難しいと思うが。 |
| 委員 | 254がネック。やはりみんな駅寄りに住もうとする。 |
| 委員 | 学校の程度やレベルを考えると、教育委員会の責任でも親の責任でもないが、そういういろんなことが絡んでくる。であれば、真ん中に1校というのがいいのではないか。ただ、当初の間は人数が多すぎるかもしれない。将来町が変わって人気の町になってきたら、というのものもある。 |
| 委員 | 町のやり方によっては人口が増える恐れもある。先ほど言った通り、調整区域を全部解除すれば絶対増える。新宿や渋谷みたいにする。大変なことになる。緑がなくなるが。でも人口を増やすというのはそういうこと。 |
| Aグループ発表 | 共通して出た意見として、一番は子どものためにどうしていくべきかというところはぶれないようにという話が出た。第一印象として統合が必要かどうかというところもあったが、そこは置いておいてそれぞれ必要なものを出した。例えば距離・人数についての統合で中学校の場合には反対する人は少ないのではないかとということ。教員の配置によって統合していこうという考えはちょっと置いておいて、足りないのであれば何かしらの方法で増やすという方法も考えていくことも、今後の再編に向けても1つの案としては必要ではないかということが出ていた。また、最近はICT関係 |

が整ってきている流れで、教師が足りない部分もいろんな工夫があれば対応ができるのではないかという話も出ていた。一方、タブレットを使うことによってついていけない子がそのままになってしまうのではないか、違うことをしてしまう生徒も出てきてしまうのではないかといった弊害も十分考えられるので、この辺についても人数が少なくなってきた、教師が足りなくなってきたというときの1つ材料としては考えるべきことではないかという話が出た。また、議論の材料として、人数が少なくなっている中学校の情報というのも今後の議論、再編の話をする上では欲しいという声があり、今後用意する必要があるという声が出ていた。中学校全体として意見が出ていたのは、やはり規律や部活動など、授業以外の活動で人数が減っていくというところは好ましくないというところも考えられるというところで、部活動については地域に移行したり、中学3校を1つにまとめて部活動をしたりという方法もいろいろ考えられるが、やはり授業以外でもそういった活動がしっかりと行われるようなあり方が今後問われているのではないかというところだった。あと、クラス替えについて子どもたちの意欲とか気持ちの部分が変わっていくということであれば、やはり1クラスではなくて2クラスということも必要かという話も出た。ただ、今すぐ何かということではなく、建物の経年劣化の関係についても出てきたので、そういったところも踏まえ、人数が激減するようなことがあればということも出たがそういったことを考えて、今後再編というのを更に考えるような議論の場があればいいのかという形で話が終わった。

B グループ発表

まずBグループでは学区の地図を見て、人口の集中というところが話題になった。藤久保小学校、藤久保中学校区の方で人口が集中しているということで、学校再編と直接関わるところではないかもしれないが、そもそもこの学区の見直しというのも1つ視野に入れてもいいのではないかと、行政区との分け方というところも併せて見直しをした方がいいというところで話題がひとつ上がってきた。学区を見たときに、例えば川越街道を挟んで西側が三芳中学校、東側でそれ以外というところでの動き方とかという話題も出てきた。他の意見で出てきたところでは、人数の推移というところ。特に三芳中学校の推移で、今後減少傾向であるというところ。保護者の立場からすると、この数値を見てしまうと、例えば保護者の判断として、このまま公立ではなくて私立の方の可能性を考えるなど、極端に、一気に減ってしまうときも来るのではないかなというところで、そういった可能性も踏まえると、もう少し手を打たなくてはいけないというところで、例えば小中一貫校等とすることや三芳町に1つの中学校にするというアイデアも出た。ただ、三芳中が一番減少傾向ではあるのだが、地域の気持ちとして、やはり一番古くからある三芳中学校をなくしたくないというような思いを持たれる地域の方たちもいるのではないかというところで、そういったところも踏まえながら考えていかななくてはいけないというところ。最後に出てきた意見としては、例えば三芳小学校、三芳中学校を1つにまとめて、そこを小中一貫にする。小学校は通学の問題もあるので残す。そして中学校に上がったら、三芳小学校、三芳中学校を1つにまとめたところに各小学校から上がってきた子たちを通わせるような形も1つあるのではないかという話も出てきた。いろんな可能性があるのかというところ。

| | |
|---------|---|
| Cグループ発表 | <p>Cグループの意見。子どもの数の推移を見ると、3つの中学校の存続は難しいというご意見があった。また、東中学校、藤久保中学校と一緒にしてもいいのではないかというお話も出た。また川越街道の西側が人口減少していくということで、調整区域を市街化区域にする等、その辺も考えた方がいいのではないかというご意見もあった。また、町の真ん中に中学校を1つ建設して、通学方法としては、自転車通学やバス通学などにはどうかというご意見もあったが課題もあり、昨今の猛暑のときなど自転車通学でもかなり通学は厳しいのではないかというご意見もあった。そして先ほどもご意見があったが、学区の見直しも視野に入れた方がいいのではないかというご意見も出た。</p> |
| 会長 | <p>何か付け加え等はあるか。では、今いただいた意見は本日の協議を踏まえたものとして私の方でまとめ、提示する。すぐにここで、中学校を1校にするというような結論ではなく、こういう見直しの仕方もあるだろうというところを生徒への不利益にならないかというような部分も付け加え、まとめて答申に盛り込んでいくということでご提示させていただければと思う。</p> <p>続いて協議の2つ目、竹間沢小学校についてというところ。前回の会議では、資料配布だけとなっていた竹間沢小学校について協議をしていきたい。アンケートの結果を踏まえ、また竹間沢小学校の児童数の推移、クラス数の推移も見ていただきながら、皆さんからご意見をいただきたい。まずは事務局からアンケート結果について説明を。</p> <p>(事務局説明)</p> |
| 会長 | <p>アンケート結果については、以前委員のみなさんにはお配りさせていただいた。この内容をご覧いただき、上富のアンケートも以前見ていただいたが、若干地域性による違いなどもあるのではないかと思う。こちらのアンケートをご覧いただいたうえで、竹間沢小学校はどのような方向性がいいかというところをご意見いただきたい。クラス数に関して、令和6年から令和11年まで載っている。1つだけ2クラスという学年があるが、1クラスで推移するということについては変わらない状況。小規模校という扱いになるので、これまでご検討いただいた小規模校におけるメリット・デメリットというところは通ずるところはあるのかとは思っている。そんな中で、児童数、クラス数の状況や、あるいは竹間沢小学校区の方々のご意見を踏まえて、竹間沢小学校の方向性へのご意見をお聞かせいただきたい。</p> |
| 副会長 | <p>竹間沢小学校の方はニュースレター含めいろいろなご意見を読ませていただいた。賛成よりも反対が多いという結果と、児童数の推移でいくと、単学級が多いが、児童数でいくと100を割ってはいないというところがある。それから、新しいマンション、これから入居が始まるかと思うがその人数の増加の推移がまだわからない状況もあるので、ここで統合するかどうか、結論としては出しにくい。様子を見て今後の児童数の状況を注視しながら保留というような感じでいいのかというふう思ったところ。</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | 私も同じような考え。大きなマンションが建つ。その様子を見て。またマンションを買った方たちが、小学校が近いからという形で買う方もいらっしゃると思うので、ちょっと様子見ながら保留という形の方がいいのではないかと思う。 |
| 委員 | アンケートの結果もあるが、アンケートというのは一番最初に心の問題が入っている。地域愛とか家族愛とかそういうのがあるので、当然の結果なのだが、今現在の人数構成、児童の構成を見て、例えば三芳小と上富小のバランスを考えて比較すると、今すぐではなくてもいいのかとは思っている。三芳小とか上富小でも、ちょっとそこは遅かったのではないかという話もある。遅くならないように将来に向けまとめていけたらいいのではないかと思う。 |
| 委員 | 私もちょっと様子を見た方がいいのではないかと竹間沢小学校の方では思った。人数的にマンションとかで増える可能性が竹間沢にはあるというのと、令和11年までは160人という予想の数字が出ている。150を下回らない限りは全然まだいけるのではないかと思っている。先生の数は厳しいのかもしれないが、上富小学校のことを考えるとまだやっていけるのではないかと思うので、竹間沢の方はもう少し様子を見ていけたらと思う。 |
| 委員 | 竹小学区のアナケートから見ると、在籍する家庭については賛成の方が14%、未就学世帯が24%。上富小の方を見ると、在籍家庭で18%、未就学の場合は40%。学校によって結果が明らかに違うと感じた。特に未就学の方で、竹小はあまり賛成をしている方が多くないのだからということが、ここでわかった。全体として半数ぐらいだが、ただ、この数字は地域によって違うということがわかった。先ほど委員からお話があったが、1学級が20人以上、令和11年度の1年生は17人ではあるが、20人いるということで、現在の上富小を考えても20人を超えているクラスは1クラスしかない。そういう意味で学び合いとか、あるいは人数が多いことによる教育効果ということが、現状もそうだし今後もできるのではないかということから保留、もう少し様子を見た方がいいかというふう考えた。 |
| 委員 | まずアンケートで印象的な意見があった。「竹間沢小学校が一番若い小学校。老朽化を言うならば竹間沢が真っ先に廃校候補から除外するのが論理的な結論」というご意見があってハッとしたのだが、上富小の議論もそうだったが、今回諮問にかけられている内容が上富と竹間沢だったので、当然といえば当然なのかもしれないが、統廃合、再編を考えると、完全に無意識に吸収合併型の再編でしか議論をしていなかったということに気づかされた。本来であるならば、まずは対等合併を基本として考えて、普通ならば新しい学校の名前が決まり、場合によっては場所を変え新しい校舎を建てみたいところでやっていくが、今回は議論をあまりせずに自動的に上富が廃校、自動的に竹間沢が廃校するような形の統廃合の議論しかしていなかったということにアンケートの意見を見て気づかされた。この方が言う通り、施設マネジメント的観点から言えば、当然選択の1つとしては唐沢小を廃校にして竹間沢の方に統合させるとか、例えばその各校舎や校庭の広さから考えて、三芳小を廃校にして上富小を存続させるとい |

| | |
|----|---|
| | <p>うところも選択肢は本来あったはずだが、そこは全然議論ができなかったというのが反省点としてはある。そこは本来議論できればいいかというふうに思っている。竹間沢の方に関してだが、今まだ全員の方のご意見は聞いていないが、多分、竹間沢は少し様子見でというのが、今のところの意見としては多い。当然このアンケートの内容や児童数から考えれば、私も個人的にはそのような印象をもっている。すぐこのまま急いで再編ということにはなりづらいのではないと思うが、一方で、同じようなアンケートの結果、同じようなクラス編成、児童の数は若干違うが、クラス編成としては上富も竹間沢もあまり変わらないという状況の中で、もし竹間沢が、少々人が多いから様子を見るというような結論が出た際に、ではなぜ上富は様子見にできないのだというような意見は出ると思うので、その整合性はきちんと詰めた上で答申を出さなければいけないのではないかなと思った。</p> |
| 委員 | <p>私も意見としては、保留でもいいのかと思う。やはりマンションにどのくらいの人が入るのかを覗くのもそうだし、アンケートを読んでいて、竹小学区から唐小に通う道があまり整備されていなくて不安という意見が多いというのが印象的。道の整備を進めていけば、また意見も変わってくるのかとも思ったりしたので一旦保留でもいいのではないかなという意見。</p> |
| 委員 | <p>皆さんの意見と同じように、これから入居が始まるマンションや建築中の戸建てがあるので、まだ保留でもいいかと思う。人数的にもまだやっていけそうな気がする。</p> |
| 委員 | <p>私も皆さんと同様の意見。地域の特性が出たアンケートだと思うし、竹間沢小学校に通われている方々の現状を知るためには良いアンケートだったと思う。引き続き継続して検討していけばいいかと思う。</p> |
| 委員 | <p>私の意見も皆さんと一緒に。今後の人口の推移はまだ読めないというところもあり、統合についてはまだ保留でもいいのかと思う。それと、アンケートにもいろいろ書かれていることで、私もいつも藤久保から竹間沢の会社まで車で通勤しているのだが、竹間沢小学校の方から唐沢小学校に行く道、全て危ないと思う。自転車の人ともいつもすれ違うが、そこに竹間沢小学校の子どもたちが毎日歩くと思うと、やはり道路の整備が先に必要なのかと思う。今、スイミングの前などを整備していると思う。道がマンションの間を抜けてという構想があるが、それも当分先だと思う。立派な歩道とかがあるようだったら多分アンケートの意見も違うのかと思う。今回は様子を見て、保留の方がいいのかと私は思う。</p> |
| 委員 | <p>保留でもいいのではないかなというのが、まず結論として思ったこと。マンションの件もあるし、単純にそれができるだけではなく、そこに人が行くことで結果的に町政としてどう捉えていくのかというの、これから考えていくべきことなのかと思っている。実際に藤久保小とかも、今、開発することによって人が増えてきて町の舵切りも変わってきているのかというところもあるので、そういった観点も含めて考える必要があると思うので、一旦保留がいいのかと思う。</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>私も結論からすると保留でよろしいかと思う。理由は、まず初めにこのアンケート結果を我々は受け止めなくてはならないというところで、ここでいうアンケート結果というのは賛成が何%、反対が何%という数値もそうなのだが、記述式の反対意見の中に先ほど委員からも安全面についてご指摘があったが、危険箇所、安全面に関する記述も目立つというのが現状だと思う。このような状況がある中で、安易に統廃合をするべきではないということを感じている。</p> |
| 会長 | <p>私もアンケート結果を見て、やはり上富と竹間沢、若干その地域の状況が違うのか、住民の方々の考えも違うのかというのを感じたところ。住宅建設の状況だとかも踏まえた中では、早急にここで結論を出すというものではないのかと思う。ただ、まだ児童数の推移はわからないが、そのままずっと何もしなくていいということではなく、今後少なくなっていく、先ほどお話があったように150人を割っていくだとか、1クラスの人数が10人と少しだとかというような状況が見えてくるときには、再度検討をしなければならないということは謳っていく必要があるのかと思う。また施設マネジメントの関係で、竹間沢小学校が一番新しい小学校ではあるが、それなりに改修が必要になってくる状況もあると思うので、その辺の状況も考え保留というご意見もあると思うが、何もしないでおしまいということではなく、そういうことは考えていかなければいけないというところは答申に入れていく必要があるのではないかとはいっている。</p> <p>何か他に付け足しはあるか。</p> |
| 委員 | <p>先ほども少しお話させていただいたが、皆さんほぼというか全員、今回の件に関して様子見でいいのではないかというような話があったと思う。先ほど申した通り、いわゆる答申としてこれが出るとすると、当然上富と何が違うんだというところはきちんと議論すべきだと思う。ぜひその議論をさせていただきたいと思っている。今回、多くの委員がアンケートの中を細かく分析されている。具体的に、どのような悩みを抱えていてということを重視されている。では上富はどうなのかという部分とか、上富のときにはクラス替えができないということが児童たちにとって非常に不利益になるということで再編やむなしということになったが、今回竹間沢はその観点が一切考慮されていない。さらに、基本方針に則ってという話も上富のときにはあったと思う。例えば今、この審議会の中で竹間沢は150人いるからという話があった。確かに感覚的には私も同じ。ただし、そのような基準は基本方針に書かれてるような方針でも何でもない。なので、基本方針を則って判断していくのであれば、竹間沢も基本的には1学級しか確保できないので、再編の対象となるべきという結論に本来はならざるを得ない。そこを、竹間沢は若干地域性の違いがあるということ。若干の違いで様子を見るという話であるならば、一体何が違うのか、ここをきちんと詰めないといけない。上富は、アンケートでも同じようなことをたくさんの方が書かれている。過半数の方が書かれている。通学路をどうするのかとか遠くなるとか、すごく書かれている。にも関わらず、上富は廃校、竹間沢は何となく残す。保留。これでは答申にならないので、そこを詳しく議論させていただきたいと思う。</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>会長</p> | <p>それでは、今回中学校の部分と竹間沢小学校の部分で意見をいただいたところをたたき台にして答申に向けた資料を作っていきたいと思う。なるべく早く作って委員に流させていただくので、その中で今ご意見が出た上富小と竹間沢小、基本方針によればどちらも1クラスなのでというところもあるが、それによってクラス替えができないが、そこはどう違うかというところを明らかにした方がいいだろうということで、そこも答申に載せていく中で、みなさんで共通認識、理解を図れば。それを文章として答申に載せていけばいいのではないかと思うので、今後またまとめて委員にご提示したときに、ご意見をいただければと思っている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>審議の時間もないので、今日この場でその議論をさせていただけないかと思う。非常に大事な点。何回かを通じて、クラス替えができないことのメリット・デメリットを議論してきたと思う。ほぼ上富小学校に関しては、そこが決定打というような印象を持っていた。逆にお聞きしたいが、竹間沢小に関してクラス替えができないことは全く考慮しないでもいいというお話であれば、今まで話した議論は何だったのかという疑問が湧いてくる。クラス替えができないこと、この答申のたたき台にもある。ここに書かれているぐらい重要な項目のはずだが、竹間沢小では別にクラス替えができなくていいとなった理由は何か。答えられる人がいたらお答えいただきたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私が今回保留とした理由は、大型マンションの開発が進んでいるところが一番。上富小学校区ではそういった開発は基本的に進んでいないし、これからどう考えても増えていかないということで私は保留にした。</p> |
| <p>委員</p> | <p>竹間沢は時期尚早というのが大勢の意見ではあったと思う。しかしながら、今現在、上富小学校についての議論に非常に時間がかかっている。そういうことを考えると、竹間小の問題も、この審議会では保留としても専門委員会とか再編委員会とかを早めに立ち上げてじっくり時間をかけて町の方で準備をしていって、スムーズに進めていけるようにした方がいいと思う。上富小学校のことも丁寧に説明、相談していく。子どもは少ないから不幸せでなければ、多いから不幸せでもないと思う。何回も議論をしていると思うが、丁寧に地域へ説明をし、準備をして、きちんとした進行をしていく。答申の目標は来年の3月、4月か。これには絶対間に合わせ、きちんとした審議会としての答申書が上がるよう、間に合うように進めてほしいと思う。</p> |
| <p>委員</p> | <p>委員のご指摘も一理はあると受けとめているが、やはり大きな違いというのは、先ほど委員から新しいマンションが建設されるということもあるかと思う。それと、三芳町の方針の適正規模には1学年に2学級以上とあるので、その辺の議論は今回はしていないと言えるのかもしれないが、ここにあるのはあくまでも望ましいというもの。上富小学校の統廃合が決定的になったのは、おそらく今私手元に資料がないが、令和10年ごろの入学児童数が1桁になるということと、あとは現状でも1桁の学年がある。これはあまりにも子どもたちが学習をしていく、心身ともに健康な子どもた</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>会長</p> | <p>ちを育てるという上では、ひと桁の数というのはあまりにも少なすぎる。エビデンスはどこかと言われても用意していないが、一般的に考えてそういうことが言えると思う。なので、その辺が全く大きな違いだと思っている。</p> <p>今回の資料の竹間沢小学校は令和11年が17人だが、マンションでもう少し増えるだろうということもあるし、おおむね20人の子どもがあれば特別大きな問題として、1学級であっても取り上げる必要はないということ個人的には思っている。その辺も踏まえ、答申案のたたき台として入れていければと思う。またご意見は次回頂戴したいと思う。</p> |
| <p>委員</p> | <p>複数の委員からマンションの話があった。確かにマンションは竹間沢地区にとってはかなり希望の光となっていて、これでしばらくは安泰というイメージがあるのは事実で、私もそのように捉えている。ただ、現実問題としては、マンションはフルで想定通り入ったとしても、学校の編成に関わるような大きな影響を与えるわけではなさそうだということが、確か以前の審議会で事務局の方から説明があったと記憶している。若干増えるが、根本的に竹間沢小学校が複数学級になるような変化はないと。残念ながら。ケチをつけたいわけではなくて何が言いたいかということ、あくまでもあのマンションはかなり偶発的なもの。なおかつ効果も限定的ということ。背景としてそういう話が出てくると、偶然マンションが建ったから保留なのかという話になりかねない。では、上富の方にもマンションが建てばいいのかという話になる。それが町の開発とかであれば、ある程度町が率先して竹間沢に住宅開発をして人口を増やすから様子を見ようというのは筋が通る。そこにマンションが建ったから保留にだと、それはタイミングが良かったという話で、しかも効果がないにも関わらずという話になるのであまりよろしくないのかと個人的には思っている。そういった流れがあるので今後の竹間沢の推移がわからないから見たい、それは当然のこと。素晴らしいことだと思う。逆に言えば、上富もそう。今ここで上富の人口の推移を予想して確約できる人は1人もいない。複数の委員からも指摘があったと思う。町は一体どうするつもりなんだと。上富地区に関して。本来であれば人口が定着する、現状維持ができたり増えたりするような施策をとるべきではないかという意見も何度か出たと思う。なので、上富の人口推移についてもここで責任を持っている方がいない。なので状況としては僕は変わらないのではないかと思っている。竹間沢はわからないから様子を見る。素晴らしいと思う。実際に起きている変化によって対応をしていく。なぜそれが上富にもできないのかが非常に疑問。先ほども言っている通り、基本方針にも当てはまらない。確かに比べれば上富小学校の児童数は少ない。だけど今現時点で、確かに1学年に1クラスでしかも人数が少ない1桁のクラスとかあるが子どもたちが伸び伸びと、現実問題学校で学んでいる。唯一基本方針の中に数字でエビデンスが示されているものがある。これは「小規模校も標準校も学力に優位な差はなかった」。これはすごく大事なデータ。基本方針の中ではほぼ唯一と言っていいほど数字で証明されている事実。ということは、小規模校でも標準校でも、子どもたちの授業の質はどちらも担保されているという話のはず。くどいようだが、竹間沢を保留にするのであれば、再度同じような考え方で上富はどう</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>会長</p> | <p>なるのかをきちんと議論すべきだと思う。</p> <p>上富の条件についてはもう皆さんにいろいろここでご審議いただき、ご意見をいただいたところ。その上でまとまったのではないかという認識をしている。いかがか。</p> <p>というところで、ここで上富はどうするんだという話に戻してしまうのはいかがなものかと思うので、今回のご意見いただいたところを答申としてまとめていく中で再度皆さんで確認をしていければいいかと思う。以上で、協議の（２）を終わりに・・・</p> |
| <p>委員</p> | <p>すみません、先ほどどなたからもお答えをいただけなかったもので、竹間沢においてクラス替えができないことに関してどのようにお考えか。上富のときには非常に問題とされた。竹間沢小学校でも今後クラス替えができない状況が発生していくが、それに関しては何の問題もないというふうにお考えであるならば、そこはどういった理由なのか答えを返していただきたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私が議論している中で主張をしてきたのは、まずこの単学級であるということでは今回の竹間沢小学校と同じ。ご指摘の通りだと思う。上富小学校の統廃合は単学級だから進めるという理論ではなくて、あくまでも、あまりにも1学年当たりの児童が少なすぎる。これは、もし大人数で学ぶ場を子どもたちに提供できるならば、全くそういうのが提供できない山間部のような地域ではないので、もし提供できるならばやはりその方が望ましいだろうというところで私は主張してきたつもり。一方で、竹間沢小学校は一定数の児童数は確保できるという現状がある。子どもたちが学び合う。例えば行事を楽しむ。それは複数の学級があった方が絶対運動会などは盛り上がる。ただ1クラスの竹間沢小学校のような規模でも、いろいろ工夫をして進めていけばそれは解消できるだろうし一番の大きな違いは児童数の違いというところが前面に出るとというのが1つ。それから、保護者のアンケート。このアンケートをどれほど重要視するかというその議論もあるかもしれないが、委員は上富小のときの保護者アンケートは半数以上が反対と言う主張。未就学のご家庭、在学している家庭、合わせると確かに半数以上が反対。ただ、上富小学校の特徴は未就学の方だけ取り出すと賛成の方が多くなっていた、確か。それはやはり大きな1つのエビデンスだと思う。竹間沢は、そこには到底届かない結果が数値としてここに表れているので、そういう町民の方の民意というものをしっかりと受け止めるならば、ここで急いで統廃合すべきではないというのが我々の結論ということではよろしいのではないのかと思うが、いかがか。</p> |
| <p>会長</p> | <p>今の委員の答えに、多くの皆さんが納得の表情をされていた。いかがか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今の委員のお話ですごく大事な話があった。決して上富小はクラス替えができないから再編するわけではない。委員のご意見だが、私もその通りだと思っていて、その話にこだわっているのは、これまでの協議内容の整理等ということで、学校再編審議会の答申記載事項のたたき台が出されていると思う。ここの教育的効果で、三芳町立小中学校適正規模適正配置の</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>基本方針の示す規模を保てるよう、と入っている時点で、竹間沢と上富が変わってしまっはまずい。なので、今回竹間沢を保留にするという話が出てくるのであれば、基本方針に沿っていないので当然そのような形で答申に記載することはできないのではないかと考えている。それから①の(1)から(4)。これはクラス替えができることでいろいろなことを解消することが可能になるという話なので、今回のこの話もおそらく答申では使えないと思う。まだ全部見きれしていないが、今回竹間沢を保留にしたことで今まで議論してきた議論が結構変わった。ここは皆さんに自覚していただきたい。今まで議論していたことの中身が使えなくなることが結構あるはず。特に基本方針に沿って判断していたことに関しては、今回基本方針を使っていないので、竹間沢に関しては基本方針を使わず、上富に関しては基本方針を使ったような答申が出せないで、そこら辺の整理をきちんとすべき。これは大事な話。竹間沢と上富、何が違うのかという議論をきちんと時間をかけてやらないと、ハチャメチャな答申になると思う。今委員から出てきた話で、皆さんも今回クラス替えができないことは子どもたちにとってさほど重要ではないことに関しては、ご異論ないことでよろしいか。</p> |
| 委員 | <p>いろいろな意見を総合的に見て判断すべきだと思う。今、委員が基本方針と仰っているが、基本方針が絶対なのであればこの審議会はいらない。初めから竹間沢小学校も上富小学校もクラス替えできないような現況になっている。本当はクラス替えができた方がいいが、いろいろな理由があって今まで来ている。さらにそれを総合的に判断してやっていくということで、竹間沢小学校と上富小学校で絶対的に違うのは1クラス9人のクラスが今、今日現在、既にある。それも女の子は2人だけ。竹間沢小学校はクラス替えができなくても、今日現在で一番少ないのが5年生の25人。25人と9人のクラスを同じ土俵で比較したり、基本方針に沿っていないから話がまとまらないとかということではないと思う。基本方針だけで決めてしまうのであれば、長い時間をかけて審議しなくても基本方針に沿っていないからさっさと合併すればいいとなる。すごく乱暴な意見を私は言っている。そうではなく、みんなが丁寧に相談し、総合的に判断している。1つのことだけを考えてやるのではなく、根掘り葉掘り重箱の隅をつついてやるのではなく、総合的に判断して物事を決めていくというのがやっぱり物事を決めていく、1つの審議会の役割だと考える。</p> |
| 会長 | <p>答申のたたき台は整理が必要かもしれない。一旦そこは事務局に預けていただき、整理したものをまた議論のたたき台として出させていただくような形でよろしいか。</p> |
| 委員 | <p>今委員から大事なお話があり、私もその通りだと思う。いたずらに基本方針を当てはめるのではなく、総合的に判断しなければならない。私もそれを常々ずっと審議会で見聞きしてきたので、そういうふうと言われる委員の方が現れて少し一安心といったところ。基本方針はあくまでも参考であって、総合的に判断をしていこうと素晴らしい考え方だと思っている。今まではかなり基本方針に沿って判断をしていくということ、基本方針を厳しく見ていくという議論をされていたので、多分今回の竹間沢小の判断を</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>きっかけに、先ほどから申している通り今までの機能がかなり転換したのかと思っている。基本方針はあくまでも参考で、アンケートに書かれていることを丁寧に拾いながら総合的に判断していく。わからなければ様子を見る。すごく大事なことなので、ぜひ同じ観点で基本方針は参考程度に留め、そこから上富小はどうか。おそらく今委員からあった通り、上富小の圧倒的な違いは、竹間沢に比べて児童数がかかなり少ない。逆に言えば、これだけ話してきて残ってきたのはそこなのかと私も思う。今の少なさが子どもたちにとって良いのか悪いのか。メリット・デメリットを考えたときに本当に廃校にすべきなのか、それとも様子を見るべきなのか、現状維持なのかみたいなどころ。おそらくそこだけになってきたのかと個人的には感じている。なぜならクラス替えはもう関係ないわけだから。そこを圧倒的に上富は人が少ない。これは実体験されている方は特に感じると思う。私もクラスが1桁になってきたときに、まず外から見たイメージはかなり強いものがあるのは当然理解はしている。ただ、問題はそれを当事者の方たちがどう思っているかというのがこの前のアンケートだったと思う。私達は標準校で育ってきた。実際小規模校で育った委員もいらっしゃるが、大体の方は標準校で育ってきている。それに比べればかなりインパクトは強い。だが、一旦その立場をおいて、アンケートを読みながらもしくは実際の子どもの様子を見ながら、上富小はどうか。おそらく少なすぎることに對する弊害もしくは少なすぎることによるメリット、多分議論すべきはそこだけじゃないか。今回の竹間沢の話で、多分上富の話は簡単になったのではないかと思っている。議論自体が簡単とは言わないが、議論すべき事柄はだいぶ絞れたのではないかと思う。ぜひ、時間の都合があると思うが上富小学校についてもう1度皆さんでお話ができる場を、それが今日なのか別日なのかはわからないが、これだけ竹間沢小に関しての意見でいろんな流れが変わった。判断基準も変わったので。場合によっては議論の順番が違うから竹間沢だけ残ったみたいなのに、外から見たらなりかねない。なので、これはもう竹間沢も上富もどちらも廃校という話であれば、変な話、話は簡単。どちらも廃校、基本方針もあるのだから、と。でも、基本方針があるにもかかわらず、竹間沢小は確かに多い。児童数が少し多いので残った。マンションもあるので残った。でも上富は残らない。これをあと1、2回の審議を決めてしまうのはかなり危険なので、ぜひ少し時間をとっていただき、上富小について再度お話ができないかと思っているがいかがか。</p> |
| <p>会長</p> | <p>先ほどから上富小と竹間沢小との違いが出ているのは確かだと思うが、そこをご理解いただいた中で、やはり上富小との違いがあるんだというところでご理解をいただけるところではないかと思う。それを踏まえて答申のたたき台を出してもらい、竹間沢小も1クラスでクラス替えができないということはあるが、それ以上にこの理由でということを出し、皆さんその通りだとかここは違うというところのご意見をいただけるように、準備をさせていただければと思うがよろしいか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>もうこれ以上議論することはないのではないのかというのが率直な感想。先ほどと同じことだが、まず初めに「この基本方針に示す規模を保てるよう」と活字になってしまっている。そこだけ見ていくと、やはり委員</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>ご指摘の通りだと思う。ただその辺はうまく書きつづりを考えていくしかないんだと思う。先ほど他の委員からもご意見があったように、絶対的なものでもない。確かに、これをよりどころとして私も議論に参加してきた。ただ、これを絶対とは思っていない。あくまでもよりどころ。その結果、上富小学校は単学級である、かつ、本当に子どもの数がかなり減っている、減少している傾向にある。その子たちに対して、これからの未来を保証するには、やはりもう少し大人数の場を提供していくことが望ましいだろうということが1つあるんだと思う。それから先ほども申し上げたように、この地域住民のアンケートが2つの地区、竹間沢の地区と上富の地区で大きな違いが出ているというのが、私は2つ目の違いとして挙げられると思う。3点目は今、資料を持ってきていなくて申し訳ないが、上富小の自由記述の中に、距離が遠いだとかそういうのは目立ったが、具体的な危険箇所とかそういうことがどれほど載っていたか。少し感覚的な意見で大変申し訳ないが、今日の結果を拝見すると、やはり通学路の危険箇所について指摘されているところがあるし、先ほどの委員の交通状況に係るご意見もそう。その辺のところ为上富と竹間沢小学校の大きな違いとして言えるのではないのかと思っている。その他の視点も必要かと思うが、その辺も踏まえて答申案を作成していくしかないだろうと。これ以上、上富小学校をどうするかという議論になったとしても、もう私も何も言うことはない。皆さん、まだ何か言い足りない方はいらっしゃるか。もしいらっしゃったら挙手していただきたい、本当に。このような状況なので、これ以上そこに時間をかけるのではなく、もう少し前に進めていきたいと思っている。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ということで次回に向けてだが、本来10回でこの審議会を終わりにするということがあったが、それでは終えられないところもあるので、事務局の方にも確認し、プラス1回は可能であるという回答もあったところなので、次回委員からも知見を出して頂いたが、たたき台を作り、そこを中心に見ていただくということにしたいと思うがいかがか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>なぜ上富の話にこだわっているかということ、確かに議論をしてきてある程度の結論を出した。ただ先ほども申したとおり、確実に今日の判断基準とあの当時に上富を判断した基準が変わっている。先ほど委員からお話が出たがアンケートの話。上富の方にもどこどこが危ないという話は当然あった。なので、今回はどうしても解像度が違うというのが素直な意見、皆様の。竹間沢に関しては非常にアンケートを事細かに、特に存続したい方の意見を見ていただいている。でも上富のときには、同じような分量であったが、統廃合に賛成の方の意見を紹介されていた。そして、基本方針もかなり強く皆様の頭の中にあっただけ。私は何度も指摘をしていた。判断しているロジックが上富小学校のときと竹間沢小学校で違う。なので、今のこの竹間沢を判断した基準、気持ちで、もう一度上富を。それでも上富はやっぱり竹間沢と違うんだということもあって、初めて公平に審議ができたというふうな話になるのではないかと。やや乱暴な話をすれば、上富の議論をたたき台にして竹間沢が残ったという見方もできる。この流れで。今日竹間沢を議事にして、上富はそれよりも前に廃校となったという話になれば、当然そういうことになる。後からそういった議論を呼ばないため</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>にも、一度どこかで時間を作って今と同じような気持ちで素直にどういうふうに判断されるか。これだけ少なかったら無理だ、これは複数の意見がある。おそらくキーポイントだと思う。少なさ。でも、逆に言えば多分そこぐらいではないか。今の竹間沢の話を考えれば、アンケートにも同じようなことが書かれている。極端に上富は少ない、これはどうなんだという1点だけだと思う。なのでそこをぜひもう一度審議していただき、その上でやはり上富は子どもたちのために再編しなければという結論が出るのであれば、それは公平な答えになるのではないかと個人的には思う。</p> |
| <p>会長</p> | <p>他の委員にお諮りしたいのだが、その部分を新たに審議するという。他の委員さんからはもう十分した、というところでご意見いただいたのだが。</p> |
| <p>委員</p> | <p>審議は必要十分に、時間も思いっきりかけてやってきたと思う。資料も分厚くなってきた。繰り返し繰り返しいろんな意見も出てきているが、自分が一番思っているのは、9人の学級の話。9人の学級の子もたちを、クラスにいっぱいだとこんなに楽しい、こんなに面白い、こんなゲームもできるんだ、と。体育の時間も9人でやるのでなく、例えばサッカーも赤白にわかれてできる、勉強もこういうことができるということを1日でも早く、今決めたからすぐできるわけではない。それをどんどん進めてあげてほしいと思う。今すぐ審議もまとめてもらって前に進めていただく、これが自分の全ての意見。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ということで、今日の議論を踏まえてたたき台を作成し、ご提示させていただければと思うので、それを確認していただくことで次回以降回していきたい。</p> <p>4 諸連絡 ・第10回の審議会日程を【11月7日（木）17時30分～】とすることについて確認。場所は追ってお知らせすることとした。</p> <p>5 閉会</p> |